

M O N T H L Y **vol.125** U P

紙と印刷。
カサカサ、ジメジメが苦手です。



湿度、温度の徹底管理。 高品質への、大切な仕組みです。

四季のある日本。季節の変化は、日本人であることの喜びを、改めて教えてくれます。

一方、気候が変わるだけでなく、気温や湿度も大きく変化します。

私たちの快適な暮らしを左右する温度と湿度。印刷や紙にも、実は大きな影響があります。

湿度の高低は、印刷用紙に影響します。

湿度が低くなると、用紙に静電気が発生しやすくなります。すると、印刷機に投入した際に用紙の曲がりが出やすくなり、見当精度の悪化につながります。またブランケット（インキを用紙に転写するゴムの胴）から紙がはがれにくくなって、紙むけなどのトラブルの原因ともなります。もちろん、紙としての風合いも損なわれます。

一方、湿度が高くなると、用紙の繊維に水分が入り込むことで繊維が伸びます。すると紙の表面に波打ちが起き、見当精度の悪化。さらにシワの発生や網点のダブリ、乾燥遅れなどのトラブルを引き起こすことになります。

そこでセザックスでは、 $60\pm 5\%$ の範囲内で湿度の一定化を図っています。



温度の高低は、印刷品質に影響します。

温度が低くなると、インキの粘度が強くなり、流動性が悪くなります。するとブランケットにインキが残ってしまったり、インキが正しく用紙に付着しなくなったりします。

逆に温度が高くなると、インキの粘度が弱くなって流動性が増します。これが限度を超えると、用紙に転写される網点が太ってしまい、色調の再現性が悪くなります。さらに、用紙面が余分なインキで汚れやすくなるトラブルをもたらします。またインキの粘度が印刷中に変わると、印刷物の刷り始めと刷り終わりで、色調に濃淡差が発生してしまうケースもあります。

それらを防止するために、セザックスでは印刷工場の室温を、常に22度から25度に管理。印刷機のインキローラーの芯に冷水を循環させ、機械回転による温度上昇を防ぎ、インキの粘度を一定に保つローラー冷却装置も全機に装備しています。





No.I290-ISO/IEC 27001
No.E2204-ISO14001 (本社・下丸子工場)
No.4412-ISO9001 (本社・下丸子工場)



SEZAX

セザックス株式会社

<http://www.sezax.co.jp>

<input type="checkbox"/> 本社・工場	〒146-0091 大田区鵜の木2-9-7	TEL 03(3758)2511(代)
<input type="checkbox"/> 渋谷コア	〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1渋谷オミビル6F	TEL 03(3400)9211(代)
	5F	TEL 03(3400)9401(代)
<input type="checkbox"/> 下丸子工場	〒146-0092 大田区下丸子2-20-4	TEL 03(3758)2516(代)

株式会社セザックスクリエイティヴ

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1渋谷オミビル2F TEL 03(3409)4970(代)

株式会社セザックスドキュメントソリューションズ

〒146-0091 大田区鵜の木2-9-7 TEL 03(3758)2533(代)

この小冊子は森林認証紙を使用しています。